

# 福島診断推論セミナー アドバンス編(白河FACE)

## 誰も教えてくれなかった診断学

「診断推論」ということばは今や臨床医の共通言語になりました。その基本的な考え方は「鑑別診断の想起」「見逃してはいけない疾患」などのフレーズとともに医療の現場にも浸透しています。

そこで今回は、もう一步アドバンスなセミナーを企画しました。

科学的に正しい診断名をつけることにこだわるのではなく、「目の前の患者のアウトカムをよくするにはどうしたらよいか？」という視点から診断を考えられるようになることを目標とします。

アウトカムがよくなるとは、①Death(死亡) ②Disease (Illness)(疾病(病気)) ③Discomfort(不快) ④Disability(機能障害) ⑤Dissatisfaction(不満足)の『嫌な5D』が減ることを意味します。

これらを診断と結びつけるためにどう考えるのか勉強しましょう。

● 日時 2016年3月26日(土)

● 場所 白河厚生総合病院・大会議室 (福島県白河市)

● 対象 医学部生・臨床研修医・後期研修医 (定員30名)  
※指導医の見学も歓迎です。

● 参加費 懇親会費用として、1500円

懇親会会場(予定)「琉球ダイニング ゆがふ」白河市中町



メイン講師  
名古屋第二赤十字病院  
野口 善令 先生

※必要事項(裏面)を裏面FAX送信票またはE-mailにご記入の上、2月29日(月)までにお申し込み下さい。

### スケジュール (予定)

3月26日(土)

12:30~	受付
13:00~13:10	オープニング
13:10~14:40	「決断分析」 白河厚生総合病院 林 理生 先生
14:50~16:20	「チーム対抗症例クイズ」 福島県立医科大学 矢野 徹宏 先生
16:30~18:00	「診断の閾値」 どこまで事後確率が低くなったら除外できるか 名古屋第二赤十字病院 野口 善令 先生
18:30~	懇親会



【主催】福島県臨床研修病院ネットワーク連絡会議 ◆ 医療人育成・支援センター 【後援】光が丘協議会

※本セミナーは、福島県地域医療再生基金助成事業「人材育成・地域定着促進事業」として実施します。

※開催日前後に福島医大へ病院見学をしていただくと、交通費を支給することもできます。

(上限3万円まで・県外医学部学生対象) お問い合わせください。

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター (CMECD)

〒960-1295 福島県福島市光が丘1 Tel : 024-547-1047 / Fax : 024-547-1715  
e-mail : cmecd@fmu.ac.jp / HP : http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html

# 福島診断推論セミナー アドバンス編 (白河FACE) 誰も教えてくれなかった診断学

**日時** 2016年3月26日(土) (受付 12:30)

**場所** 白河厚生総合病院 (福島県白河市豊地上弥次郎2-1)

## 参加申込先

### FAX

024-547-1715

下部のお申し込み票に必要事項をご記入の上、上記FAX番号まで送信してください。

### E-mail

cmeacd@fmu.ac.jp

下部お申し込み票に記載されている必要事項をメールにて上記アドレスまたは右QRコードにて送信してください。



**お申し込み票** FAXもしくはE-mailで 2月29日(月)までにお申し込みください。

氏名 (フリガナ)	性別 男 ・ 女
所属	
卒業年次	年度卒業 または 年生
住所・電話番号	〒 TEL
メールアドレス	
このセミナー (FACE) に参加したことがありますか?	ある ない
参加動機	
どのようにして本企画を知りましたか? (ホームページ、チラシ ほか)	

## アクセス



### 交通機関

#### ■ お車でお越しの場合

- ・白河中央スマートIC(ETC専用)から約1分
- ・白河ICから約10分
- ・矢吹ICから約15分

#### ■ 電車をご利用の場合

- ・JR白河駅よりタクシーで約5分
- ・JR新白河駅よりタクシーで約10分